

目標2「2050年までに、超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を実現」



複雑臓器制御系の数理的包括理解と超早期精密医療への挑戦

プロジェクトマネージャー (PM)

合原 一幸 (東京大学 特別教授)

代表機関：東京大学

研究開発機関：大阪大学、東京工業大学、東京大学、富山大学、名古屋大学、ニューヨーク州立大学



研究開発プロジェクト概要

数理データ解析や数理モデル解析などの数理研究を、臓器間相互作用と制御に関する実験研究と統合する研究を実施します。それにより、2050年には、臓器間ネットワークを複雑臓器制御系として包括的に理解し、超早期精密医療へ応用することで、疾患の超早期予防システムが整備された社会の実現を目指します。

2030年までのマイルストーン

数学を用いて、病気になる前にその予兆を見つけて発病せずに治すための技術を開発する。

2025年までのマイルストーン

数学を用いて全身のデータを調べて発病の予兆を見出す。

